

南信森林管理署における「ついで見回り・通報」の取組について

中部森林管理局	南信森林管理署	森林技術指導官	わたなべ 渡邊	おさむ 修
		一般職員	ありなが 有永	こころ 心
		上伊那郡猟友会	たけいり 竹入	しょういち 正一
		宮下建設株式会社	あらい 新井	のぶひろ 伸弘

1. 課題を取り上げた背景

ニホンジカによる農林業被害は、シカの生息範囲が広域化していることや、過疎高齢化による被害対策の体制整備の遅れ、捕獲従事者の減少による捕獲圧の低下等により深刻化しています。

特に林業においては造林地や伐採跡地、林道の法面、治山緑化事業地などはシカの餌場として好適な環境となったことから、シカが集まり易い状況になっていました。しかし、奥地等の国有林においては条件不利のため効果的な対策実施が難しかったことから今回、国有林内で事業を受注している請負事業体等に協力していただき新たな捕獲に取組ました。

2. 取組の経過

(1) 南信森林管理署管内はニホンジカの被害が多いことから中部森林管理局管内でも先駆的にニホンジカ対策に取り組んでいます。

平成 29 年度までの取組は以下のとおりです。

- ① 地方自治体、NPO等との連携強化（4 地域の協議会への参画）
- ② 生息状況調査（センサーカメラ設置、GPSによる行動調査、個体数調査、被害状況調査）
- ③ 個体数調整（市町村、猟友会へのくくりワナ貸付、委託契約）
- ④ 野生鳥獣等との共存に向けた対策（防鹿柵設置）

(2) 平成 30 年度の新たな取組

くくりワナの見回りの省力化と効率的にシカの捕獲を行うため「ついで見回り・通報」を導入し、その効果を検証しました。取り組んだ内容と経

過は以下のとおりです。

- ① 8月8日に中部森林管理局管内初となる浦国有林における「ついで見回り・通報」の基本合意書を上伊那郡猟友会、宮下建設株式会社、南信森林管理署の3者により調印しました。
- ② 8月30日に狩猟事故防止・違反防止、安全指導実施後、ワナ設置場所の検討、選定、森林管理署から貸付したくくりワナ33器を設置しました。
- ③ 8月31日に「ついで見回り・通報」で初の雌ジカ3頭を捕獲しました。
- ④ 11月3日にくくりわなを撤去しました。

3. 実行結果

8月30日のワナを設置から11月3日の撤去までの66日間で林道、作業道沿線の延長6km及び治山工事現場周辺で125器のくくりワナを設置し、158頭のニホンジカを捕獲しました。



写真1 実施箇所（治山工事現場）



写真2 ワナ設置場所の選定

4. 考察

今回、上伊那郡猟友会、宮下建設株式会社のご協力の下で158頭と予想以上の成果となる捕獲ができました。改善点は多々ありますが、地元市町村はじめ関係機関と情報を共有し、引き続き地域と連携して効率的に捕獲ができるようニホンジカの被害対策を進めて参ります。